

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

Bulletin of the National Museum of Ethnology Vol. 5No. 4; Cover, Contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-11-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009251

1980・12 5_卷4_号

国立民族学博物館 研究報告



指示詞にみられる空間分割の種類とその普遍性——吉田集而

アンデス地域、トトラの民族植物誌——山本紀夫

母系社会における忌避行動——ミクロネシア・サタウル社会の親族体系(1)——須藤健一

セニャル儀礼の呪物イリャ——中央アンデスの家畜増殖儀礼——友枝啓泰



国立民族学博物館

〒565 大阪府 吹田市 千里 万国博記念公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

5 卷 4 号

1980年12月

目 次

指示詞にみられる空間分割の種類とその普遍性……………	吉田 集而…………	833
アンデス地域, トトラの民族植物誌……………	山本 紀夫…………	951
母系社会における忌避行動 ——ミクロネシア・サタワル社会の親族体系(1)—— ……	須藤 健一…………	1008
セニャル儀礼の呪物イリャ ——中央アンデスの家畜増殖儀礼—— ……	友枝 啓泰…………	1047
彙 報……………		1072
国立民族学博物館研究報告 5 卷総目次……………		1074
国立民族学博物館研究報告寄稿要項……………		1076
国立民族学博物館研究報告執筆要領……………		1077

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 5 No. 4

December 1980

YOSHIDA, Shuji	Typology and Universality of the Cognition of Space Division through the Analysis of Demonstratives	833
YAMAMOTO, Norio	Ethnobotanical Notes on the <i>Totora</i> Reed in Andes.....	951
SUDO, Ken-ichi	Avoidance Behavior in Satawalese Society	1008
TOMOEDA, Hiroyasu	La Illa en el Rito de Señal	1047

彙報 (昭和55年7月～
昭和55年9月)

評議員の異動

氏名	任期
石井 良助	(55. 9.15～57. 9.14)
伊地智善継	(55. 9.15～57. 9.14)
市古 貞次	(55. 9.15～57. 9.14)
井上 光貞	(55. 9.15～57. 9.14)
江上 波夫	(55. 9.15～57. 9.14)
岡本 道雄	(55. 9.15～57. 9.14)
北村 甫	(55. 9.15～57. 9.14)
木田 宏	(55. 9.15～57. 9.14)
窪 徳忠	(55. 9.15～57. 9.14)
斎藤 正	(55. 9.15～57. 9.14)
鈴木 尚	(55. 9.15～57. 9.14)
直江 広治	(55. 9.15～57. 9.14)
中尾 佐助	(55. 9.15～57. 9.14)
林屋辰三郎	(55. 9.15～57. 9.14)
久山 康	(55. 9.15～57. 9.14)
馬淵 東一	(55. 9.15～57. 9.14)
向坊 隆	(55. 9.15～57. 9.14)
山村 雄一	(55. 9.15～57. 9.14)
山本 達郎	(55. 9.15～57. 9.14)

海外における研究・調査収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
中山 和芳	助手(第1研究部)	55. 7. 1	56. 7.31	サイパン, アメリカ合衆国信託統治領ミクロネシア
庄司 博史	助手(第3研究部)	55. 7. 2	55. 9. 3	フィンランド
杉本 尚次	教授(第4研究部)	55. 7. 3	55. 8.18	アメリカ合衆国, 西サモア
野村 雅一	助教授(第5研究部)	55. 7. 9	56. 2. 6	ギリシャ, ルーマニア
煎本 孝	助手(第1研究部)	55. 7.16	55. 9.14	インド
祖父江孝男	教授(第1研究部)	55. 7.17	55. 8. 5	大韓民国
泉 幽香	助手(第5研究部)	55. 7.20	57. 7.19	フランス
小谷 凱宣	助教授(第1研究部)	55. 7.20	55. 8.20	カナダ, アメリカ合衆国, デンマーク, 連合王国
井狩 彌介	助教授(第2研究部)	55. 7.20	55.10.31	スリランカ
藤井 知昭	助教授(第2研究部)	55. 7.21	55. 9.27	パキスタン, インド

運営協議員の異動

氏名	任期
石川 榮吉	(55. 9.15～57. 9.14)
伊藤 清司	(55. 9.15～57. 9.14)
大島 襄二	(55. 9.15～57. 9.14)
甲田 和衛	(55. 9.15～57. 9.14)
白鳥 芳郎	(55. 9.15～57. 9.14)
富川 盛道	(55. 9.15～57. 9.14)
中根 千枝	(55. 9.15～57. 9.14)
藤岡 喜愛	(55. 9.15～57. 9.14)
吉田 禎吾	(55. 9.15～57. 9.14)
祖父江孝男	(55. 9.15～57. 9.14)
佐々木高明	(55. 9.15～57. 9.14)
伊藤 幹治	(55. 9.15～57. 9.14)
大給 近達	(55. 9.15～57. 9.14)
岩田 慶治	(55. 9.15～57. 9.14)
和田 祐一	(55. 9.15～57. 9.14)

館内各種委員会委員の異動

標本資料評価委員の異動

氏名	任期
芳井 敬郎	(55. 8. 1～56. 7.31)
松崎 憲三	(55. 8. 1～56. 7.31)

彙 報

山本 順人	助 手 (第5研究部)	55. 7.21	55.10.20	パキスタン, インド
藤井 龍彦	助教授 (第4研究部)	55. 8. 1	55. 9.10	メキシコ, グアテマラ, パナマ, ペルー
守屋 毅	助教授 (第1研究部)	55. 8. 2	55. 8.20	中華人民共和国
松山 利夫	助 手 (第1研究部)	55. 8. 2	55. 8.20	中華人民共和国
関本 照夫	助 手 (第2研究部)	55. 8. 8	55. 9.30	インドネシア
岩田 慶治	教 授 (第2研究部)	55. 8.20	55.11.30	スリランカ, インドネシア
石森 秀三	助 手 (第4研究部)	55. 8.24	55. 9.15	アメリカ合衆国, アメリカ合衆国信託統治領ミクロネシア
大給 近達	教 授 (第4研究部)	55. 8.24	55.11.22	ブラジル
君島 久子	教 授 (第1研究部)	55. 8.29	55. 9.13	タイ, 香港
和田 正平	助教授 (第3研究部)	55. 8.29	56. 2.27	フランス, マリ, ギニア, トーゴ
江口 一久	助教授 (第3研究部)	55. 8.29	56. 2.28	フランス, マリ, ギニア, トーゴ, カメルーン
石毛 直道	助教授 (第5研究部)	55. 8.30	55. 9. 3	大韓民国
福井 勝義	助教授 (第3研究部)	55. 9. 8	55.10.27	ケニア, ザンビア, ナミビア, 南アフリカ共和国
伊東 一郎	助 手 (第3研究部)	55. 9.11	55.10.20	ポーランド, チェコスロバキア, ユーゴスラビア
長野 泰彦	助 手 (第1研究部)	55. 9.15	56. 1.15	ネパール

来館者抄

7月23日	中華人民共和国文化宮訪日友好視察団一行 全家福 (民族文化宮副主任・団長) 張士安 李雙喜 王景亭	18日	森 主一 (静岡女子大学教授)
29日	Kenneth PREWITT (アメリカ合衆国社会科学硏究協議会理事長)	22日	猪瀬 博 (東京大学工学部教授)
30日	信森 廣光 (福山市立女子短期大学教授)	9月3日	Thomas CRUMP (Universiteit von Amsterdam, Antropologisch-Sociologisch Centrum)
8月1日	Paul M. THOMPSON (ロンドン大学東洋アフリカ学部助教授)	8日	トーマス・J・ベアワールド (ミネソタ科学博物館地理学部門ディレクター)
4日	ヨーゼフ・クライナー (ボン大学日本文化硏究所長) E・パウアー (ボン大学日本文化硏究所) R・マティアス・パウアー (ボン大学)	10日	中国出版代表团 曾彦修 (団長) 趙国良 崔之富 範振江 王徳林 葉宝一
		12日	Carl SAGAN (コーネル大学惑星硏究所長)
		20日	福間 知之 (参議院通信委員会委員長)

国立民族学博物館研究報告 5巻 総目次

5巻1号

増田 昭三：ペルー南部における海岸と高地の交流……………	1
大貫 良夫：南部ペルーのアンデス西斜面における環境利用……………	44
藤井 龍彦：南部ペルーアンデス西斜面地域の先スペイン文化……………	83
山本 紀夫：中央アンデス南部高地の環境利用 ——ペルー，クスコ県マルカパタの事例より——……………	121
佐藤 信行：中央アンデス南部農村の家族，親族とアイユウ ——姻族 (qata/q'ačun)を中心に——……………	190
友枝 啓泰：中央アンデスの民話とアマゾンの神話 ——栽培植物・労働・死の起源—— ……	240
Franklin PEASE, G. Y.: Las Relaciones entre las Tierras Altas y la Costa del Sur del Perú ——Fuentes documentales——……………	301

5巻2号

中牧 弘允：ハワイにおける日系霊能者と民間信仰 ——オアフ島の女性霊能者の事例—— ……	317
関本 照夫：二者関係と経済取引——中部ジャワ村落経済生活の研究——……………	376
長野 泰彦：チベット語の色彩語彙……………	409
及川 昭文：貝塚データベース——その作成と応用—— ……	439
宮本 定明	
小山 修三	
八村廣三郎：民族学データの統計的解析のための汎用ソフトウェアシステム ——民具データへの応用を中心として——……………	471
杉本 尚次：ヨーロッパ民家の民族学的・地理学的研究 ——野外博物館の民家を中心として——……………	493
AKIMICHI, Tomoya: A Note on Palauan Food Categories: <i>Odóim</i> versus <i>Ongráol</i> ……	593

5巻3号

秋道 智彌：Satawal 島における伝統的航海術——その基本的知識の記述と分析——……………	617
煎本 孝：チペワイアンのトナカイ狩猟活動系 ——生態人類学的視点から—— ……	642
小川 了：フルベ族の牧畜と農耕をめぐる諸問題 ——ジェンゲルベ・グループの生業に関する民族誌的研究——……………	667
小山 修三：コーヒー・ドーナツ・プロジェクト ——心理の図形化手法についての研究ノート——……………	712
西村 綏子：国立民族学博物館所蔵の労働衣服 ——国内収集の上半衣について—— ……	729
日浅治枝子：国立民族学博物館所蔵の労働衣服 ——国内収集の下半衣について—— ……	751
山崎 光子：国立民族学博物館所蔵の労働衣服——とくに刺子の形態・染織の分析——……………	778
RIDDLE, Kenneth: A Preliminary Survey of Fish Cultivation in Ricefields, with Special Reference to West Java, Indonesia……………	801

5 卷 4 号

吉田 集而：指示詞にみられる空間分割の種類とその普遍性……………	833
山本 紀夫：アンデス地域，トトラの民族植物誌……………	951
須藤 健一：母系社会における忌避行動——ミクロネシア・サタウル社会の親族体系(1)——……………	1008
友枝 啓泰：セニャル儀礼の呪物イリャ ——中央アンデスの家畜増殖儀礼—— ……………	1047

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認めた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスマ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当たっては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万国博記念公園
国立民族学博物館内
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限る。図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

[柳田 1942: 67-69]

[Leach 1961: 123]

[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]

ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。

[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]

9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。
 - (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
 - (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本語の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』13(4): 311-330.

Bohannan, P.

1973 *Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist*. Current Anthropology 14(4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143.

Leach, Edmund

- 1964 *Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse.*
In Eric H. Lennenberg (ed.), *New Directions in the Study of Language*,
The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

- 1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

- 1960 *Social Structure in Southeast Asia.* Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

- 1974 『シャーマニズム——古代のエクスタシー技術——』 堀 一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

- 1960 *The Rites of Passage.* M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 5卷4号

監 修
梅 棹 忠 夫
編集委員長
加 藤 九 祚
編 集 委 員
竹 村 卓 二
垂 水 稔
中 村 俊 龜 智
藤 井 知 昭
吉 田 集 而
和 田 正 平

昭和 56 年 3 月 20 日 発 行 非 売 品

国立民族学博物館研究報告 5卷4号

編集・発行 国立民族学博物館

〒565 吹田市山田小川41-1
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社

〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol. 5 no. 4
December 1980

YOSHIDA, Shuji

Typology and Universality of the Cognition of Space Division through the Analysis of Demonstratives

YAMAMOTO, Norio

Ethnobotanical Notes on the *Totora* Reed in Andes

SUDO, Ken-ichi

Avoidance Behavior in Satawalese Society

TOMOEDA, Hiroyasu

La Illa en el Rito de Señal



**National Museum
of Ethnology**

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X